

# 医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご理解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

## 【研究課題】

A 病棟における褥瘡発生要因の検討

## 【研究計画の概要】

### ○目的

近年、社会の高齢化に伴い入院患者も高齢化が進んでおり、65 歳以上が最も高くなっている(厚生労働省, 2020)。4 西病棟での手術患者中 65 歳以上の割合は、2021 年度で 55.0%、2022 年度で 57.5%であり、半数以上を占めている。高齢者は、手術後の安静や病態により、認知機能や ADL 低下のリスクがあるとともに、治療に伴う長期臥床の影響は褥瘡発生を促進し、皮膚障害のリスクが高まると言える。

褥瘡発生を予防するために、2002 年の褥瘡対策未実施減算に始まり、2006 年の褥瘡ハイリスクケア加算などさまざまな診療報酬改定がされてきた。日本褥瘡学会の調査によると一般病院での褥瘡推定発生率は減少している(褥瘡学会, 2016)。4 西病棟での年間の褥瘡新規発生件数は、2021 年度 30 件、2022 年度 18 件であり、減少傾向にある。しかし、褥瘡発生を完全に予防することは実現できていないのが現状である。

一般的には寝たきりが褥瘡発生の高リスク要因の一つと考えられているが、4 西病棟では、日常生活自立度 C ランク患者以外にも褥瘡が発生している。先行研究でも、褥瘡発生者の特徴として、日常生活自立度 B1 が最も多いという結果を挙げている(山崎ら, 2018)。4 西病棟で 2021 年・2022 年度に褥瘡発生状況を、日常生活自立度・ブレイデンスケールに視点を置き、後ろ向き調査により振り返ることで、原因・要因を明らかにする。

### ○研究期間

倫理審査承認後～2023 年 12 月末

### ○対象となる方

2021 年 4 月～2022 年 3 月末までに 4 西病棟に入院し、新規褥瘡発生した 48 名の患者を対象とする。

### ○研究に利用する資料・情報

2021 年 4 月～2022 年度 3 月末までに 4 西病棟で発生した褥瘡発生の症例を日常生活自立度ランク別に集計する。また、褥瘡発生患者の背景をカルテから調査する。具体的には、ブレイデンスケール、年齢・疾患・皮膚状態・装具使用の有無・リハビリの状況・ADL・排泄状況・栄養状態の情報収集を行う。

### ○倫理的事項

本研究では、研究対象者の個人情報およびプライバシーを保護し、研究対象者が特定されないように匿名化を図り十分に配慮する。また、得られたデータは USB メモリーに保存し、外部への持ち出しを行わない。研究終了まで鍵のかかる所で厳重に管理し、研究終了後は内容を破棄し、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄する。得られたデータを本研究以外の目的で使用することはない。

### ○その他

本研究に参加することで、新たな費用や謝礼金の発生はしない。また、本研究に関して開示すべき利用相反関係もない。

## 【問い合わせ先】

水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 4西病棟  
研究責任者 植松 花梨

電話:029-231-2371(代)